



- 平吉と和子の平和問答 -

「田母神論文」問題って？ どうして「言論のクーデター」なの



田母神俊雄前航空幕僚長の懸賞論文に端を発した「言論クーデター」が大きな波紋を広げています。そこで、この問題の本質、背景について問答形式で考えて見ました。

平吉 このところ航空自衛隊の田母神とかいう偉い人の論文が問題になっているようだけど、どんなこと？「言論のクーデター」などと穏やかでないことも言われているけど、人間の自衛隊も関係あるの？

和子 勿論よ。航空幕僚長という空軍のトップで、イラク派兵の違憲判決に「そんなの関係ねえ」といつてはばからない人物が守らなければいけない憲法を無視して、日本が行なった侵略戦争を肯定する論文を書いていったの。その上、あの戦争を「植民地支配と侵略」として反省した、政府公式見解の「村山首相談話」も見直せと言っているのよ。平和憲法に真っ向から反する言動を平然と行う、とんでもない人物で、これが放置されたら日本は戦前に逆戻りしてしまうわ。私たちが人間基地の自衛隊の言うとおりにしなければならなくなるかもよ。

平吉 うーん。それでどうして「言論のクーデター」って言うの？

和子 クーデターって武力で政権を奪うことでしょ。それを論文でやっただけでなく、隊内教育や民間に向けてもやっていたことがハッキリしたの。国会でもそれを当たり前と居直っているの。そんな人物を処罰もしない政府も政府。こんなことを

許しておいたら民主連合政府が出来たときチリのように武力で政権が覆されかねないわ。

平吉 フン。でも、彼は処分もされず、6千万円も退職金をもらうというじゃないか。

和子 それだから彼を任命し、国の方針にも反する言動を放置していた歴代内閣の責任をハッキリさせ、厳格な処分が求められているのよ。

平吉 彼はまた「言論の自由」というようなことも言っているよ。ただけどどうなの？

和子 軍主導で戦争を進め、外に甚大な被害をもたらした侵略戦争の反省の上に立つて憲法は公務員の「憲法尊重擁護の義務」(99条)と「内閣の組織、文民資格、連帯責任」(66条)で*文民統制を決めているわ。それを無視した「言論の自由」などありえないわ。「国民が主人公」の民主主義国家では軍隊は国会や内閣に従わなければならぬの。この当然のことを否定する動きが強まっている中で今度の問題が起こったから大変なの。彼を幕僚長に任命したのは、主な閣僚を「靖国派」が占めた安倍内閣の時、日本を「戦争できる国」にする動きが一層強まってきたのと無関係ではないわ。

平吉 なるほど、聞けば聞くほど大変なことなんだね。世界が紛争を戦争でなく話し合いで解決しようという流れを強めているときに、日本だけが海外派兵だ、日米一体の基地再編などと騒いでいることと考え合わせると、田母神問題はそういう流れのなかで起っただけに重大問題だね。

和子 そうなのよ。だから私たちもしっかり勉強して、出来ることから行動することが大事なのじゃないかしら。

平吉 わかった。それじゃあ26日の内藤さんの講演(左欄)も聞かなくちゃあね。

*「文民統制」については裏面「ことばのしおり」参照
日高市平和委員会HP「大ニュース」もごらん下さい。

‘08 基地周辺のくらしと安全を考えるつどい

11月26日(水) 6:30~
所沢ミュージアム小ホール

「米軍再編・自衛隊一体化の危険と米軍所沢通信基地の全面返還のために」
講演 内藤 功氏
(元参議院議員・長沼自衛隊違憲訴訟弁護団)

誘い合ってご参加を！！